



テーマ リベラルアーツ教育は日本で実るか？（要旨）

武内 隆明

山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部 (iCLA) 学部長補佐

最近、日本のビジネス界でも「リベラルアーツ」という言葉を耳にする機会が増えてきた。ビジネス誌でも、度々、表紙を飾っている。

しかしまだ、日本では本当の意味の「リベラルアーツ教育」が理解されていないのではないかな。

リベラルアーツ教育を学んだ著名人

リベラルアーツ教育を学んだ著名人は国内外で枚挙にいとまがない。

古くは同志社大学の創立者の新島襄（アマーフト大）、津田塾の津田梅子（プリンマー大）、札幌農学校を開校したクラーク博士（アマーフト大）、内村鑑三（アマーフト大）、永井荷風（カラマズー大）。近年では孫正義（カリフォルニア州ホーリー・ネームズ・ユニバーシティ）。

海外でもインテルの創業者のロバート・ノイズ（グリネル大）、アップルの前CEO スティーブ・ジョブズ（リード大）。米歴代大統領も、リベラルアーツ・カレッジは数多く輩出している。

毎年数千人の卒業生を出すユニバーシティ（総合大学）と異なり、毎年数百人という少人数の卒業生数だが、特定の職業に直結した専門教育を敢えて絞り込まないのを良しとするリベラルアーツ・カレッジにも関わらず、卒業後の活躍の場が極めて幅広く分散されており、しかもそれぞれの分野で超一流のレベルに達している人材が少なくない。

リベラルアーツ教育の方針 Wide/Balanced/Connected

アメリカの大学は、1600年代にイギリスから入植してきた清教徒によって、東海岸で私塾のようなリベラルアーツ・カレッジから始まったと言われる。

リベラルアーツ・カレッジの規模は、3,000人超が6.4%、87%が1,000人以上2,000人台。

ユニバーシティの代表格アイビーリーグ8校の平均学生数は、8,000人弱である。

多くのリベラルアーツ・カレッジでは、学生と教授の比率が10対1以下。

文系か理系か進路を決めかねている学生には、「幅広い」リベラルアーツ教育が向いている面がある。教授と密に相談しながら、一緒に人文科学、社会科学、自然科学、芸術などを横断的に挑戦していき、少しずつ、自分が学びたいことを発見していくのがリベラルアーツの方針である。

「教養学部」とはどこが違うのか

リベラルアーツ教育で最重要な方針の1つは、「幅広い」分野（視野）を「バランス良く」受け入れ、それらを自分なりに「関連付ける」ことである。

人間の脳は、知識を記憶しロジカルに考える左脳と、直感的・感性的なひらめきや芸術面が得意な右脳に分かれていると言われるが、現代人に、より有効利用されてきたのは左脳の方である。

職業的にも人気のあったのは、弁護士・会計士や医者・研究者などコツコツと机に向かう職種。

しかし、AIやロボットが最も得意とするのも、明らかに、この左脳の方である。

スティーブ・ジョブズの言葉でまとめると

「我われは常に、テクノロジーとリベラルアーツの交差点に立とうとしてきた。技術的にも最高のものを作りたい。でもそれは直感的でなければならない。これらの組み合わせ（関連付け）が iPad を生み出した。」

回り道している間の「不必要」と思われる体験を、将来「ひらめいて」、間接的にも繋がらない事象やアイデアと「関連付けられる」能力、回り道をしながらも日々ポジティブに捉えるメンタリティ（熱い心と冷静な頭）と、それを継続するために必要な心身の習慣化こそが、リベラルアーツ教育の核心である。

リベラルアーツ教育の根幹

アメリカのトップ・リベラルアーツ・カレッジのカリキュラム

「学業」の分野では、下記の3つのカテゴリーに分かれており、それぞれのカテゴリーから最低1教科が必須である。

- 1) Natural Science（数学、理科など）
- 2) Social Science（経済学、社会学など）
- 3) Art（美術、音楽など）

実験室に日夜こもりつきりは許されず、社会学や哲学など、そして、音楽や演劇なども学ばなくてはならない。そうすることによって、思い入れが過多になりがちな研究者や経営者とは異なる視点で「果たして、それを人類・社会として製造して良いものか」など、再考する余地が生まれる。

音楽、美術、演劇などの芸術分野も、いろいろと勉強し、しかも、全くその分野の基礎のない学生でも一から学ぶことができる。

幅広くバランスのとれた授業を「結びつける」大きな役割を担う1つの大きな特徴が、厳しい Writing コース。たとえ経済学の論文でも、ちゃんとした skilled English で作成することを要求される。

プライドは引き裂かれるが、だんだん精神的にもタフになっていくのが実感できる。幅広い「教養的知識」のインプット以上に、それを整理して発信する業を無意識に体得させられる。

課外授業（エキストラ・カリキュラム）

「学業」の分野は当然として、体育とワークショップにも注力することを奨励されるが、それ以外にも、大学によっては、ウィンター・スタディと言って、通常の授業とは関係のない授業を1科目のみ（通常の履修科目数は、4科目/学期）、前期と後期の間の1月中まる1ヵ月間取らされるカリキュラムもある。

レジデンシャル（全寮）制度による「習慣」

もう1つリベラルアーツ教育の根幹は、折れない「熱い心」と「冷静な頭」を維持する生活・人生を、全寮制生活をきっかけに、一生懸命、弛まぬ努力で継続し、無理してでも「習慣化」させて体に沁みこませること。

「総合ユニバーシティ」との最大の違いは学生数の量だけでなく、学生生活の質

リベラルアーツ・カレッジは、一学年500名前後のみ、授業も5名から15名前後がほとんど。大学院を原則創らないので、大学関係者の総数は、ずっとこじんまりで家族的。

教授は、自分のクラスの全学生のニックネームまで覚え、「卒業後の進路を理科系にするか文科系にするか」などの悩みも伴走して親身に相談にのってくれる。

友達、リベラルアーツ・カレッジならではの幅広い様々な専攻の学生が集まっている。絶えず、周りの友達が何を面白そうに学んで、どんな苦労しているかなどを聴き、自分の状況も聴いてもらうことが日常茶飯で行われる。

相談する際のプレゼン能力から、聴き上手になり相談されるコミュニケーション・スキル、その

内容を整理する能力向上にもなるなど、お互い全寮制ならでは、切磋琢磨される。

日本の旧制高校との類似点

少人数の職業訓練的でない幅広い教育を全寮制で行う極めて似た環境/制度は日本にもあった。

リベラルアーツ・カレッジの課題

原則大学院がなく、教授は研究よりも教鞭を最優先とし、学生数が少なく、学生対教授比率が高い全寮制のリベラルアーツ・カレッジ共通の課題は；

量的に小規模であるが故に、あらゆる意味で「多様化」が限定されること。

しかし、今後、ますます「専門は大学院で」の前提で、学部は「幅広い基礎的なリベラルアーツ・カレッジ」と認識される可能性は高い。その必要性は既に世界各国から見い出され、リベラルアーツ教育の芽は、欧州やアジアなどグローバルに育まれてきつつある。

リベラルアーツの目指すところ

リベラルアーツ教育では、理系も文系も関係なく、それぞれを「原材料」として捉えた上で、偏ることなく両方を学び、究極的には、それらから世界に通用するレベルまで徹底的に「読む力」「理解する力」「発信する力（聴く力も含む）」そして、その3つを習得しておかないとできない「書く力」を培っていくプロセスが重要である。

何よりもそのプロセスにより、心からワクワクするほど「楽しい」と思える世界に巡り合い、心身ともに鍛錬された「人生の学びの姿勢の修得」が、究極的に目指すところなのではないか。

(詳しくは本文 <https://goo.gl/cyS5P6> をご覧ください。)

執筆者紹介

●肩書

山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部 (iCLA) 学部長補佐
認定特定 NPO 法人 Teach For Japan アドバイザー

●略歴

1961 年に大阪生まれ。小学校は父の仕事の都合でフィリピンへ。東京の中学校、高校を卒業。大学は米マサチューセッツ州の Williams College を卒業し、1984 年に野村證券の国際調査部に入社。その後、外資系金融会社のウェリントン・マネジメントのボストン本社、東京のゴールドマン・サックスのアセット・マネジメント部門や UBS 信託銀行などで活躍した後、チューリッヒ・スカダ・インベストメンツの副社長、プルデンシャル・ファイナンシャル・アドバイザーズ証券社長などを歴任。

2003 年に独立。投資会社を東京で経営しながら、2006 年から上海に駐在し、経営コンサルタント会社も起業する。

2012 年に帰国後、教育業界に転身し、認定 NPO 法人の Teach For Japan や 山梨学院の新設学部の International College of Liberal Arts (iCLA) のサポートに奔走し、現在に至る。ライフ・ワークは、アジア(特に日本)の若者へのリベラルアーツ教育の啓蒙活動。



当財団では、第一線で活動される気鋭の執筆者に依頼し、時代を拓く提案、提言をニュースレターとして発信しています。ご意見をおよせください。財団事務局 abrighterfuture@theoutlook-foundation.org

一般財団法人 未来を創る財団：<http://www.theoutlook-foundation.org/>

© 2018 The Outlook Foundation. All rights reserved.